経済産業省

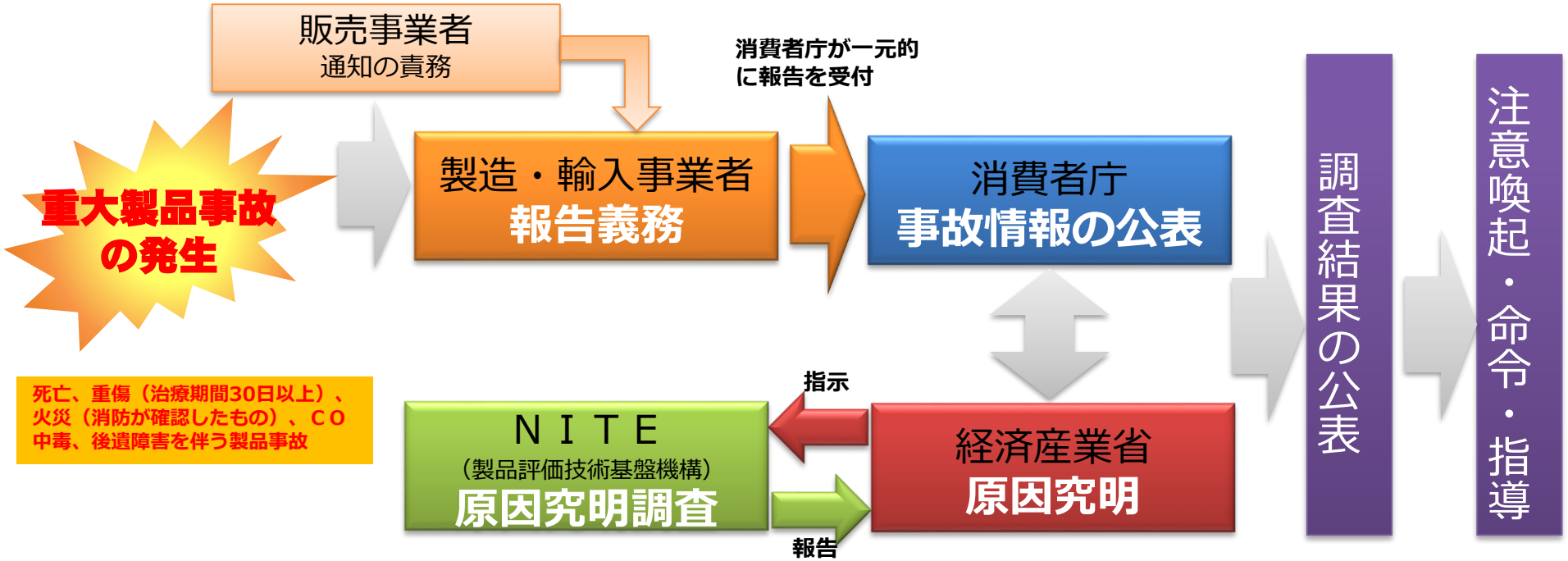
資料1

平成２９年の製品事故の発生状況等について

平成３０年３月１９日
経済産業省
産業保安グループ
製品安全課

重大製品事故報告・公表制度（消安法の制度）

- **製造・輸入事業者**が重大製品事故の発生を知ったときは、**１０日以内に消費者庁に報告**することを義務付け。（消安法第３５条）
- **販売事業者等**が知ったときは、**製造・輸入事業者に通知する責務**がある。（消安法第３４条第２項）
- **消費者庁**は**当該事故情報を迅速に公表**。**経済産業省**は、**ＮＩＴＥに対して原因究明調査を指示。**（消安法第３６条）
- **調査結果は改めて公表**し、**注意喚起や命令・指導**を行うことによって、**再発防止を図る。**



※平成２１年９月より、重大製品事故情報の収集・公表を消費者庁が担当、事故原因究明等を経済産業省が担当。

平成２９年の重大製品事故件数

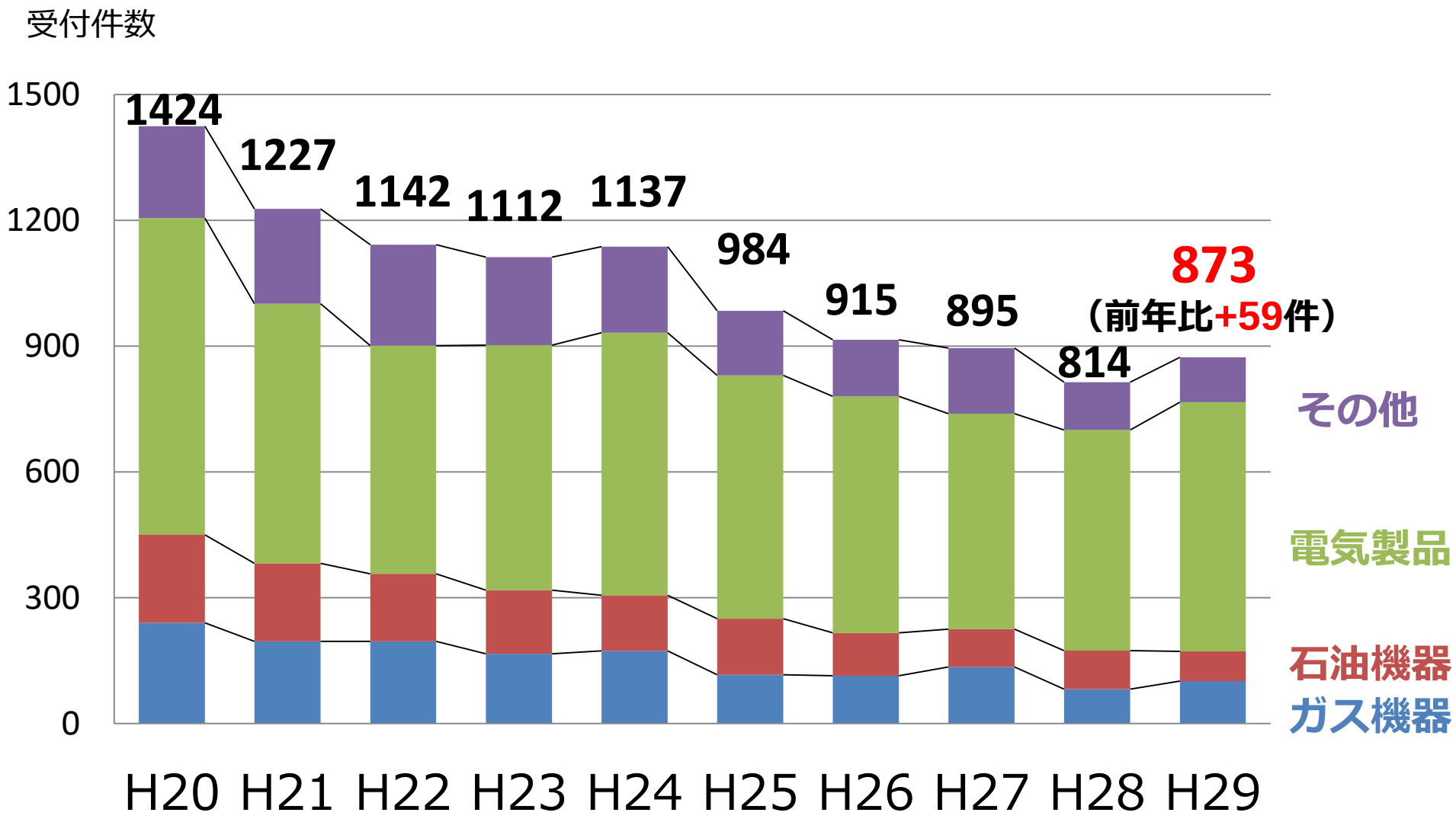
- **平成２９年の重大製品事故受付件数**は、**合計８７３件。**
  火災事故が７３２件と全体の約８割を占める。

	死亡	(うち火災による死亡)	重傷	(うち火災による重傷)	火災	一酸化炭素中毒	後遺障害	計
燃焼器具	10	(9)	4	(4)	155	3	0	172(20%)
ガス機器	2	(2)	2	(0)	94	3	0	101(12%)
石油機器	8	(7)	2	(4)	61	0	0	71(8%)
電気製品	14	(13)	21	(3)	558	1	0	594(68%)
その他	11	(1)	74	(2)	22	0	0	107(12%)
合　計	35 (4%)	(23)	99 (11%)	(6)	735 (84%)	4 (0%)	0 (0%)	873 (100%)

注）：被害件数の合計を受付件数の合計数に一致させている。このため、
・「火災」の件数からは、「火災」かつ「死亡」（23件）、「火災」かつ「重傷」（9件）の数字を差し引いている。火災事故報告された受付件数では764件となる。
・「一酸化炭素中毒」の件数からは、「一酸化炭素中毒」かつ「死亡」、「一酸化炭素中毒」かつ「重傷」の数字を差し引いている。
・「死亡」かつ「重傷」の事故は、「死亡」のみを計上している。

重大製品事故件数の推移

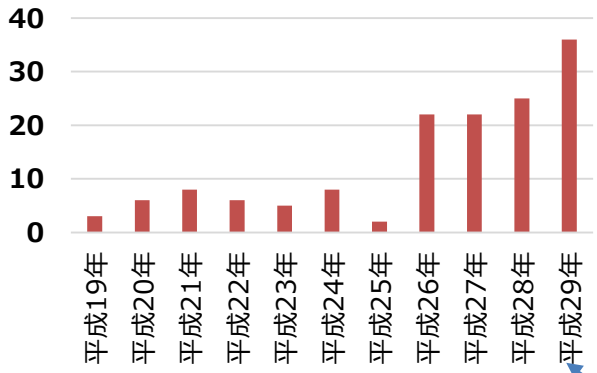
- 平成２９年の重大事故件数は前年度より５９件増。



重大製品事故件数が増加している主な製品

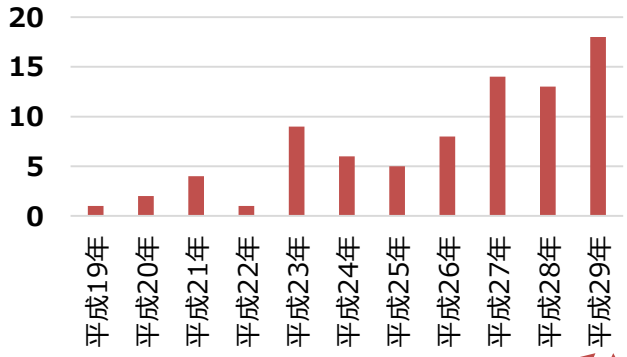
- **ノートパソコン、スマートフォン**については、近年、**購入から３～７年程度経過した製品**で**内蔵リチウムイオンバッテリーからの火災が多発。**※ノートパソコン　25件(H28年)→36件(H29年)、スマートフォン含む携帯電話機　14件(H28年)→23件(H29年)
- **太陽光発電機器**についても、**導入から10年程度経過した製品について経年劣化が原因とみられる事故**、**導入から数年以内の製品での初期不良が原因とみられる事故**が増加。　※太陽光発電機器　13件(H28年)→18件(H29年)

ノートパソコンの事故件数

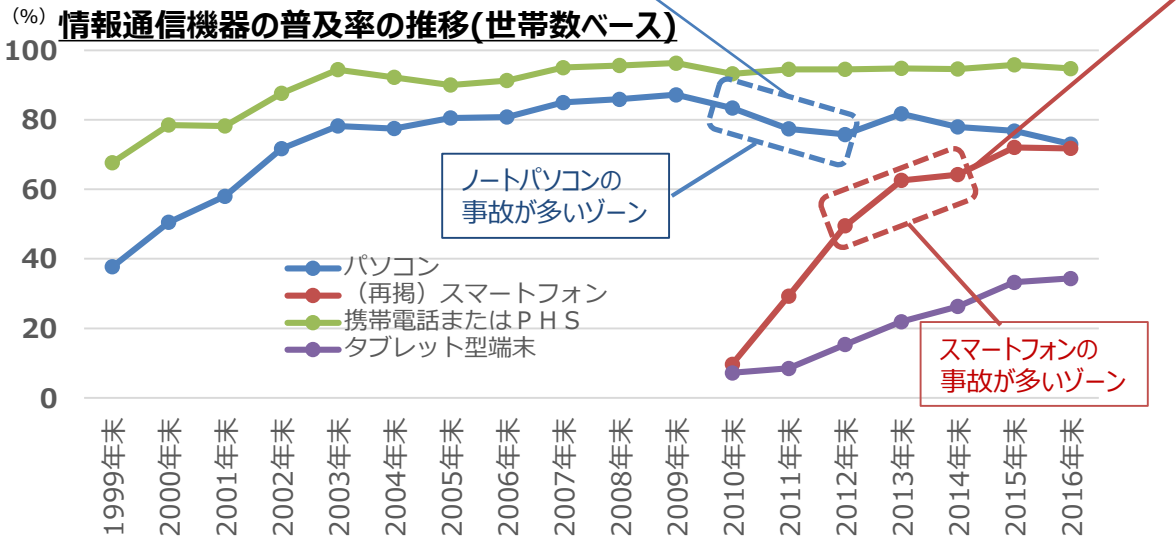


携帯電話機(スマートフォン含む)の事故件数

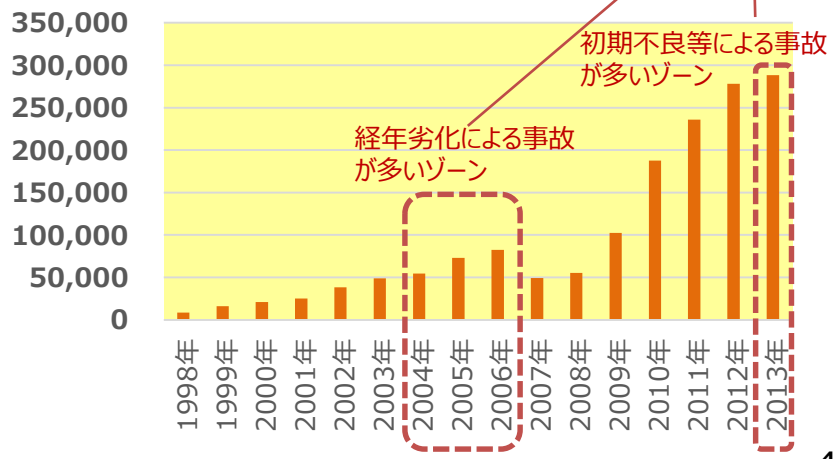
太陽光発電機器の事故件数



情報通信機器の普及率の推移(世帯数ベース)



住宅用太陽光発電の導入件数推移



※「携帯電話またはPHS」にはスマートフォンも含まれる。

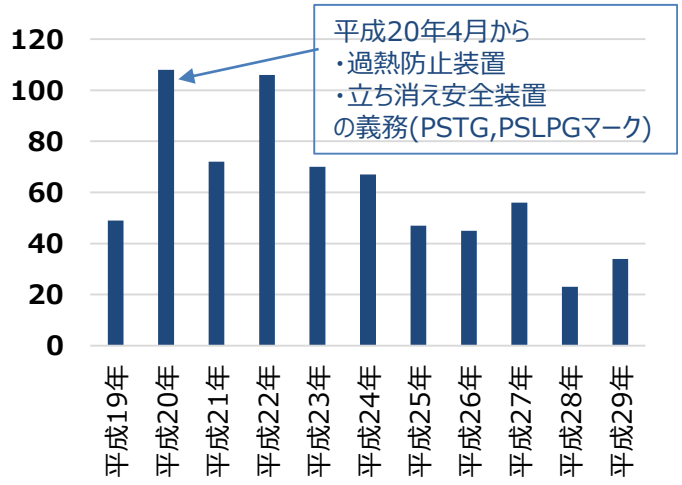
出典：総務省　情報通信白書　平成29年版

出典：（一社）太陽光発電協会

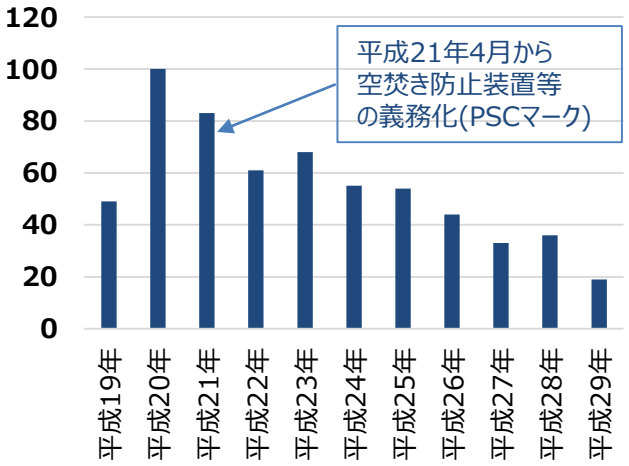
重大製品事故件数が減少している製品、その他の主な製品

- ガス・石油製品については、**安全規格の整備**や**安全設計の製品の普及**もあり、長期的に減少傾向。
- IH調理器は事故件数が増加したものの、電子基板の一部のショート等が多く、ガスこんろに比べ、大きな火災にはならない傾向。

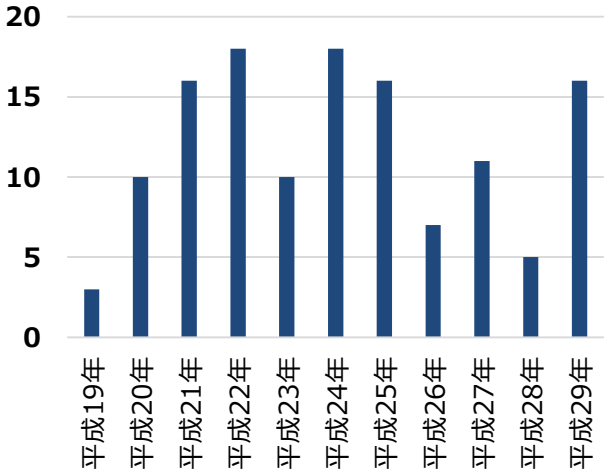
ガスこんろの事故件数



石油給湯器/石油ふろがまの事故件数



IH調理器の事故件数

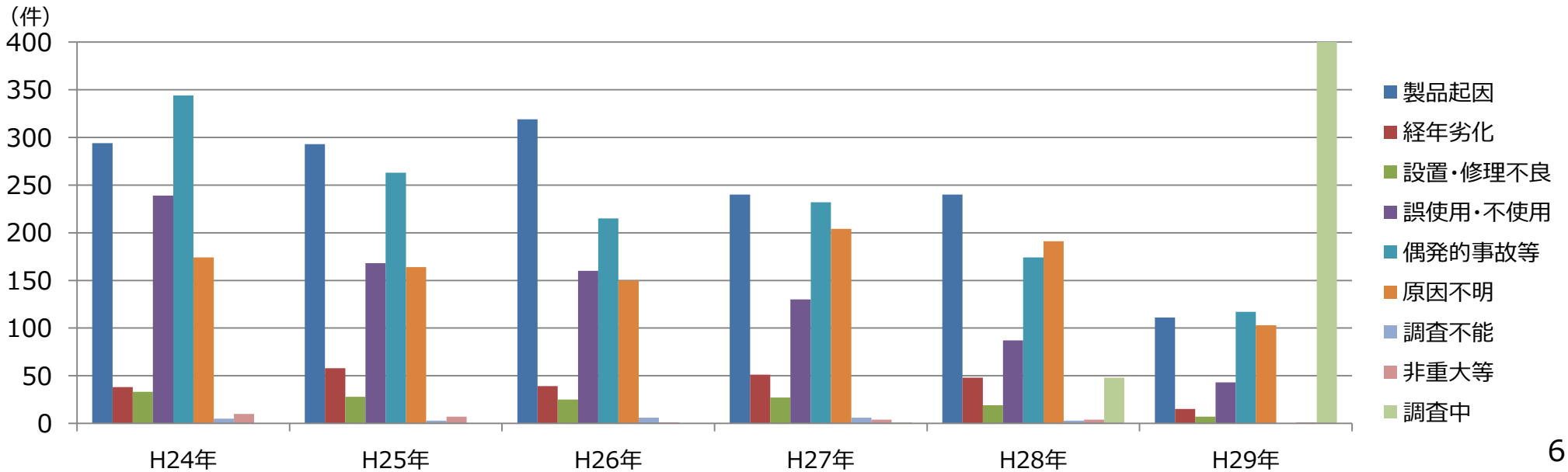


- **リコール対象品の事故や輸入品の事故の増加がみられた製品もあった。**

	平成２８年	平成２９年（ ）内増減数	特定要因で事故件数が押し上げられた製品
電動アシスト自転車	6	１７（＋１１）	品質の劣る輸入品による事故が件数を押し上げ（1件 → 7件）。
温水洗浄便座	2	９（ ＋７）	リコール対象品の事故が件数を押し上げ（1件 → 4件）。
電気ストーブ	４１	４７（ ＋６）	リコール対象品の事故が件数を押し上げ（16件→19件）。

重大製品事故の原因究明

- 重大製品事故の原因究明調査の結果は、経済産業省のホームページで公表。
- 製品起因となった事故には、事業者に改善を促している。

重大製品事故の原因分析と経年変化

受付年	製品起因	経年劣化	設置・修理不良	誤使用・不注意	その他 非製品起因	原因不明	調査不能	非重大製品事故等	調査中	合計
H27年	**240**	51	27	130	232	205	6	4	0	895
	27%	6%	3%	15%	26%	23%	1%	0%	0%	100%
H28年	**241**	47	19	87	176	196	3	2	48	814
	30%	6%	2%	11%	22%	24%	0%	0%	6%	100%
H29年	132	16	9	47	122	118	0	3	**426**	873
	15%	2%	1%	5%	14%	14%	0%	0%	**49%**	100%